

はじめに.....	iii
本書について.....	viii
ビジネス統計スペシャリスト 試験概要.....	x
学習環境.....	xii
<b>①ビジネスデータ把握力 編</b>	
<b>第1章 平均値</b> .....	2
1.1 平均値とは何かを知る.....	3
1.2 平均値を求める.....	3
1.2.1 Excelにデータを入力する.....	3
1.2.2 自分で数式を作成する方法.....	5
1.2.3 AVERAGE関数を使用する方法.....	7
1.2.4 関数を挿入するその他の方法.....	9
1.3 まとめ.....	11
章末問題.....	11
<b>第2章 中央値</b> .....	12
2.1 中央値が何かを知る.....	13
2.2 中央値を求める.....	14
2.2.1 Excelにデータを入力する.....	14
2.2.2 中央値を求める.....	16
2.3 まとめ.....	19
章末問題.....	19
<b>第3章 最頻値</b> .....	20
3.1 最頻値が何かを知る.....	21
3.2 最頻値を求める.....	21
3.3 中央値と最頻値の例.....	25
3.4 まとめ.....	25
章末問題.....	26
<b>第4章 レンジ</b> .....	28
4.1 レンジが何かを知る.....	29
4.2 レンジを求める.....	30
4.3 まとめ.....	36

章末問題.....	36
-----------	----

<b>第5章 標準偏差</b> .....	38
5.1 標準偏差が何かを知る.....	39
5.2 標準偏差を求める.....	40
5.2.1 Excel関数を使用しない方法.....	40
5.2.2 Excel関数を使用する方法.....	46
5.3 まとめ.....	49
5.4 Excelの分析機能「基本統計量」.....	50
5.4.1 分析ツールアドインを設定する.....	50
5.4.2 基本統計量を使用する.....	53
章末問題.....	56

**②ビジネス課題発見力 編**

<b>第6章 外れ値の検出</b> .....	58
6.1 外れ値が何かを知る.....	59
6.2 散布図の外れ値を検出する.....	60
6.2.1 散布図を作成する.....	60
6.2.2 近似曲線を挿入する.....	63
6.3 折れ線グラフの外れ値を検出する.....	65
6.3.1 折れ線グラフに補助線を挿入する.....	66
6.4 まとめ.....	68
章末問題.....	69
<b>第7章 度数分布表</b> .....	70
7.1 度数分布表が何かを知る.....	71
7.2 度数分布表を作成する.....	71
7.3 ヒストグラムが何かを知る.....	75
7.4 ヒストグラムを作成する.....	77
7.5 まとめ.....	81
章末問題.....	81
<b>第8章 標準化</b> .....	82
8.1 標準化が何かを知る.....	83
8.2 平均の異なるデータを標準化する.....	84
8.3 まとめ.....	89
章末問題.....	90

<b>第9章 移動平均</b> .....	92
9.1 移動平均が何かを知る.....	93
9.2 時系列データを整理する.....	93
9.3 移動平均を使って時系列データを分析する.....	96
9.4 結果を見る.....	101
9.5 まとめ.....	101
章末問題.....	102
<b>第10章 季節調整</b> .....	104
10.1 季節調整が何かを知る.....	105
10.2 時系列データを用意する.....	105
10.3 時系列データを整理する.....	106
10.4 季節要因を求める.....	107
10.5 季節変動値を考察する.....	109
10.6 季節変動値を考慮して考察する.....	112
10.7 まとめ.....	115
章末問題.....	115
③ビジネス仮説検証力 編	
<b>第11章 集計</b> .....	118
11.1 ふたつの変数の関係に着目する.....	119
11.2 仮説のタイプを確認する.....	120
11.3 質的変数(原因)→量的変数(結果)の仮説を検証する.....	121
11.4 仮説の検証に必要な視点を考える.....	125
11.5 質的変数(原因)→質的変数(結果)の仮説を検証する.....	126
11.6 まとめ.....	132
章末問題.....	133
<b>第12章 散布図</b> .....	134
12.1 量的変数と量的変数の関係を知る.....	135
12.2 量的変数と量的変数の関係をグラフ化する(1):折れ線グラフ.....	136
12.3 量的変数と量的変数の関係をグラフ化する(2):散布図.....	139
12.4 まとめ.....	143
章末問題.....	144
<b>第13章 相関</b> .....	146
13.1 相関関係を確認する.....	147
13.2 相関(ピアソンの積率相関)とは何かを知る.....	147
13.3 分析ツールを使用して相関を計算する.....	150

13.4 「相関がない=関係がない」ではない.....	152
13.5 「相関がある=因果関係がある」ではない.....	154
13.6 まとめ.....	154
章末問題.....	155
<b>第14章 回帰分析</b> .....	156
14.1 直線関係を詳しく調べる.....	157
14.2 $y=ax+b$ の「a」とは何かを理解する.....	160
14.3 $y=ax+b$ の「b」とは何かを理解する.....	161
14.4 どれくらい説明できるか確認する.....	162
14.5 分析ツールで回帰分析を行う.....	164
14.6 まとめ.....	167
章末問題.....	167
<b>第15章 最適化</b> .....	168
15.1 Excelでシミュレーションを行う.....	169
15.2 回帰分析の結果を活用する.....	171
15.3 利益を最適化する価格を探す.....	172
15.4 ソルバー機能を活用する.....	173
15.4.1 ソルバーアドインを設定する.....	173
15.4.2 ソルバーを使用して最適化する.....	175
15.5 まとめ.....	178
章末問題.....	178
<b>章末問題 解答</b> .....	179
<b>索引</b> .....	181